

# 大腸内視鏡検査・内視鏡的ポリープ切除術を受けられる方へ

様

検査日 月 日 曜日 午前 時 分までにご来院ください

## ● 検査前日

- ・前日の夕食は夜9時までに済ましてください。
- ・その後、検査までの間はできるだけ水分、お茶、紅茶、スポーツ飲料は飲んでください。その他ものは食べたり飲んだりしないでください。
- ・内服薬はいつものように飲んでください。
- ・夕食後にセンノシド3錠、モサプリド3錠を内服してください。

## ● 検査当日

- ・朝食は食べないでください。
- ・水分、お茶、麦茶、紅茶、スポーツ飲料は飲んでいただいても結構です。  
(牛乳、ジュース、アルコール類は止めてください)
- ・高血圧、心臓病などのお薬はいつものように飲んでください。
- ・糖尿病のお薬は飲まないでください。インシュリンも注射しないでください。

## ● ご来院の注意事項

- ・鎮静剤(ぼーっとする薬)による検査を希望される方は、検査後、危険ですので車を運転して来院しないでください。
- ・現在内服している薬(くすり手帳)をすべて持参してきてください。
- ・抗凝固剤や抗血小板剤(血液をさらさらにする薬)を飲んでいる方は出血の危険があるためポリープ切除はできません。数日から1週間の休薬期間にてポリープ切除が可能になりますので内服中の方は予め外来受診時に申し出てください。

## ● 検査手順

- ・個室(トイレ付)にて20の下剤を内服して、何度かトイレに通って腸の中を空っぽにさせていただきます。
- ・検査中にポリープを認めた場合には切除しますので、金属類は外しておいてください  
(指輪、ネックレス、時計、下着など)
- ・腸がきれいになったら検査を開始します。(昼12時以降順次)

## ● 検査後

- ・検査後、1時間程は食べたり飲んだりしないでください。
- ・消化の良い食事で刺激物の飲食は避け、タバコ、お酒は止めて下さい。
- ・検査中は空気をいれて大腸をふくらませるため、お腹が張った感じがあるかもしれませんが、検査後にはガスが出て自然に治りますのでご安心ください。
- ・激しいお腹の痛みが続く、黒い便が出る、肛門から血がポタポタ出た時は、当院に連絡して下さい。少量の出血なら心配ありません。
- ・検査中に注射をされた方の中には頭痛、嘔気、嘔吐、めまい、喉が渇く、目がチカチカしたり、物が二重に見えたりすることがありますが、徐々に改善されますので心配ありません。
- ・検査時に大腸の中を見やすくするために色のついた薬を入れることがあります。その場合、検査後に尿や便に色がついたりしますが心配ありません。
- ・鎮静剤(ぼーっとする薬)で検査をされた方は、検査後1～2時間程休んでからお帰りいただきます。
- ・検査時に組織やポリープを取った方は約2週間後に病理検査結果を説明します。

# 大腸内視鏡検査 問診票

年 月 日 ID \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_

身長 \_\_\_\_\_ c m 体重 \_\_\_\_\_ k g 血圧 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

- 今までに大腸内視鏡検査を何回受けましたか？ \_\_\_\_\_回
- その時、鎮静剤（ボーっとする注射）を使って検査をしましたか？（はい・いいえ）
- その時、つらかったですか？（苦しかった・やや苦しかった・楽だった・覚えていない）
- 検査時・検査後に具合が悪くなったことがありますか？  
(特になし・冷や汗・はきけ・めまい・動悸・その他 \_\_\_\_\_)
- 歯の麻酔（局所麻酔）で気分が悪くなったことがありますか？（はい・いいえ）
- 薬のアレルギーはありますか？（はい・いいえ）薬の名前は？ \_\_\_\_\_
- 抗凝固剤や抗血小板剤（血液をさらさらにする薬）を飲んでいますか？（はい・いいえ）  
薬の名前は？ \_\_\_\_\_（ワーファリン・パナルジン・バイアスピリン・バファリン）
- 高血圧はありますか？（はい・いいえ）
- 糖尿病はありますか？（はい・いいえ）
- 心臓・脳の病気はありますか？（はい・いいえ）  
(病名は？ \_\_\_\_\_ 不整脈・狭心症・心筋梗塞・脳梗塞)
- 緑内障（眼圧が高い）はありますか？（はい・いいえ）
- 腹部の手術を受けた事がありますか？（はい・いいえ）手術名 \_\_\_\_\_
- 男性の方にお聞きします。前立腺肥大（尿が出にくい）はありますか？（はい・いいえ）
- 女性の方にお聞きします。現在妊娠中もしくは授乳中ですか？（はい・いいえ）
- 大腸内視鏡検査をする際には鎮静剤（ボーっとする注射）を希望しますか？（はい・いいえ）  
※ ただし、鎮静剤を希望する場合は車の運転はできません

# 大腸内視鏡検査の同意書

大腸内視鏡検査は検査前日と当日に下剤を内服して大腸内の便をすべて排出したうえで内視鏡を肛門から挿入して大腸全体を詳細に観察して診断します。ご希望がございましたら鎮静剤（ぼーっとする薬）を使つての検査もいたします。ただし、その場合には検査後危険ですので車の運転はできません。

検査中に精密検査が必要と判断した場合には生検（大腸の組織の一部をつまみ取る検査）あるいは大腸ポリープを切除させていただくことがあります。

抗凝固剤や抗血小板剤（ワーファリン・パナルジン・バイアスピリン・バファリンなど）を内服中の患者さまは出血しやすいため事前にお申し出ください。薬のアレルギーがございましたら事前にお申し出ください。

大腸内視鏡検査はごく稀に以下に述べるような合併症が起こることがあります。

- 穿孔：消化管壁に穴が開いた場合には緊急手術が必要になることがあります。
- 出血：検査や生検（大腸の組織の一部をつまみ取る検査）、大腸ポリープ切除などで出血する可能性があります。  
一般的には内視鏡的処置や薬にて速やかに止血されますが、ごく稀に輸血や緊急手術が必要になる場合があります。
- ショック：検査や検査時に使用する薬にてショック（呼吸抑制、血圧低下、徐脈、薬のアレルギーなど）を起こす場合があります。

当クリニックでは上記の危険性に細心の注意を払いながら内視鏡検査を行います。万が一、合併症が発生した場合には最善の処置をいたします。

平成 年 月 日 寺田クリニック 説明医師：寺田博文

以上のような内視鏡検査の内容および合併症について十分理解できましたので検査を受けることに同意します。

平成 年 月 日 氏名 \_\_\_\_\_